

2024年3月期 第1四半期 アナリスト様向け Zoom ウェビナーカンファレンス 主な質疑応答記録

日時：2023年7月27日（木） 13:30～14:30

出席者：取締役常務執行役員 基盤事業本部長 松浦 一慶  
取締役常務執行役員 管理本部長 曾根 芳之  
取締役常務執行役員 高機能事業本部長 小西 裕一郎

#### 【エラストマー素材事業】

ご質問：1Qにおいて営業利益が良化した要因について説明して欲しい。

回答：QoQでは原価の良化の影響が大きかった。22年度の原料価格は四半期で多少のぶれはあるものの、総じて下落の基調にあり、加えて徳山工場が定期修繕を行っていた。その結果、4Qでは原料価格が高いタイミングでの在庫を販売しており、1Qはこれが改善した。また、棚卸資産関連費用についても、4Qの悪化に対し、1Qは戻入による良化が発生した。

ご質問：現在の需要環境について説明して欲しい。

回答：半導体の需給が緩和したことで自動車生産台数が上向きつつあり、特殊ゴムは堅調であるものの、汎用ゴムは中国景気の減速を受け、足元でやや低調である。今後、中国における景気の刺激策を期待したい。

ラテックスは、手袋製品および原料ラテックスの需給緩和状態が依然として続いており、今後もしばらく続くと見込む。

化成品は、梱包テープの在庫調整の影響を受けており、2Q後半以降の回復に期待する。

ご質問：コロナ禍で上昇していた海上運賃について、現状を説明して欲しい。

回答：海上運賃はコロナ禍で急騰した頃と比較し、相対的に落ち着いてきている状況であり、コロナ前の水準まで戻ったと認識している。

#### 【高機能材料事業】

ご質問：電池材料のうち、EV向けの需要環境および投資に対する考え方を説明して欲しい。

回答：いずれのアイテムも、中国における生産調整後回復している。しかし、当初想定と比較すると回復は緩やかである。今後も回復を見込んでいるが、さらに中国における景気の刺激策にも期待したい。投資については、地産地消をベースに計画を進めており、遅れはない。

ご質問：電池材料について、三元系とLFPの拡大方針について説明して欲しい。

回答：当社製品はいずれでもご採用頂いている。中国はLFPが主流であるが、欧州、米国辺りではNMC等も伸びていくことが期待されており、当社は電池におけるトータルソリューションをご提供できる企業として、いずれも開発を進めている。

ご質問：光学樹脂のうち、光学用途の需要状況について説明して欲しい。

回答：スマホレンズ用途は堅調だが、それ以外の中大型レンズ（F0レンズ、プロジェクター用レンズ等）については、需要が低調である。

ご質問：光学フィルムのうち、中小型フィルムの需要状況について説明して欲しい。

回答：スマホ用途を中心に、2Qにかけて出荷増を見込んでいる。しかし、タブレットおよびノートPC用途は、巣ごもり需要が一巡し

22 年度比で出荷は低調となる見込みである。